

フランス語でよく使う便利な ” on ” ！でも英訳するのは意外と大変？！



筆者はフランス語と英語の講師をしているのですが、よく「言葉が混乱しませんか？」というご質問を受けることがあります。

はい・・・実は、非常に混乱しております！

そこで今回は、**便利な単語であるけれどフランス語と英語の表現で混乱してしまう代表的な例**を一つをご紹介します。

フランス語でよく使う便利な単語は？

「フランス語で便利な表現や単語は何ですか？

』
と聞かれたら、私はためらうこと
なく答えます。それは・・・ **on** です！皆様おなじみの人称代名詞ですね。

on は nous の代わりに使われたり、「人一般」を表します。実は、on
は「人一般」を表すときの用法が便利なのです。
「皆や誰かがそう言っている」、「そうしている」という表現のときには on
を使っておけば間違いありません。

実はフランス語のonは英語に訳せない？！



フランス語の on
はとても便利な単語ですが、実は英語に訳そうとすると混乱してしまうことがあります。

例) **On** parle français en France. フランスではフランス語を話す

上の例文、主語のない日本語にもしっくりくる感じがしますよね。しかしこれを英訳しようとする
と「on に該当する単語って、ない?!」となってしまいます。 「人一般」だから、on
をあえて英語で言うなら they でしょうか。下記の例文をご覧ください。

They speak English in America. アメリカでは英語を話す

なんだか上記の表現では、当のアメリカ人が言うとはトゴトのようですね。英語での正しい表
現は下記のとおりです。

English is spoken in America. アメリカでは英語が話される

この場合、英語では主語を隠して**受動態**
(be+過去分詞)を使うのです。受動態を使うことによってフランス語の on
のような、中立的なニュアンスが表現できます。英語では受動態が大活躍するのです。

そういえば、学校英語でさんざん受動態を勉強させられたのに、フランス語ではちょこっとしか
出てきませんよね。これは on あるいは、se を使う「**代名動詞**」などがあるおかげなのです。

最後に

日本語よりもずっと**英語とフランス語は構造が似ています**
。しかし、大きな発想の転換が必要な表現がたくさんあるようです。英語とフランス語が混乱し
てしまうのも仕方がないことかもしれませんね。

執筆 Akiyo

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師による
マンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。
いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた
質の高いレッスンが好評です。

